

福島第一原子力発電所 1・2号機非常用ガス処理系配管一部撤去作業に向けた実機動作確認中における配管把持装置の不具合について

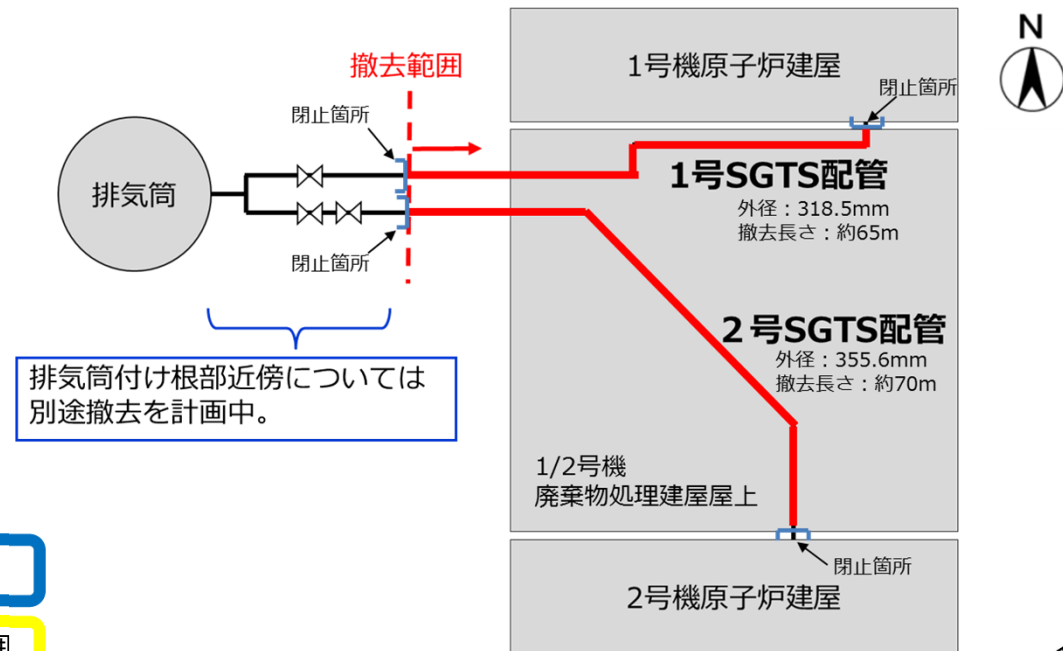
< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 8 月 3 0 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 1・2号機非常用ガス処理系配管（以下、SGTS配管）については、今後予定されている1・2号機廃棄物処理建屋の雨水対策工事、ならびに1号機燃料取り出し用大型カバーの設置工事に干渉することから、工事に干渉する範囲にあるSGTS配管を撤去する計画としております。
- なお、当該作業エリアは、比較的放射線量が高いエリアであることから、作業員の被ばく線量を抑制する観点から、遠隔装置を用いてSGTS配管を撤去する計画です。



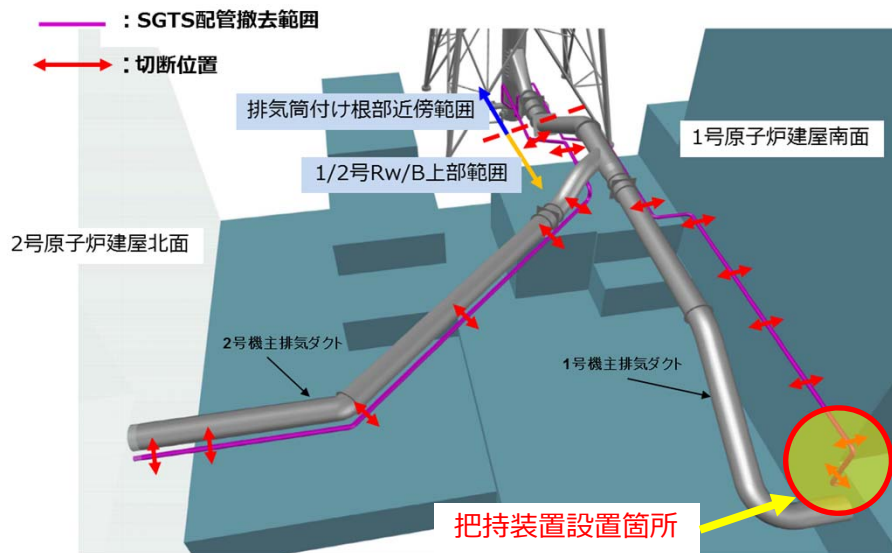
- 1/2号機SGTS配管
- 1号機原子炉建屋大型カバー設置との干渉範囲
- 1・2号機廃棄物処理建屋雨水対策との干渉範囲



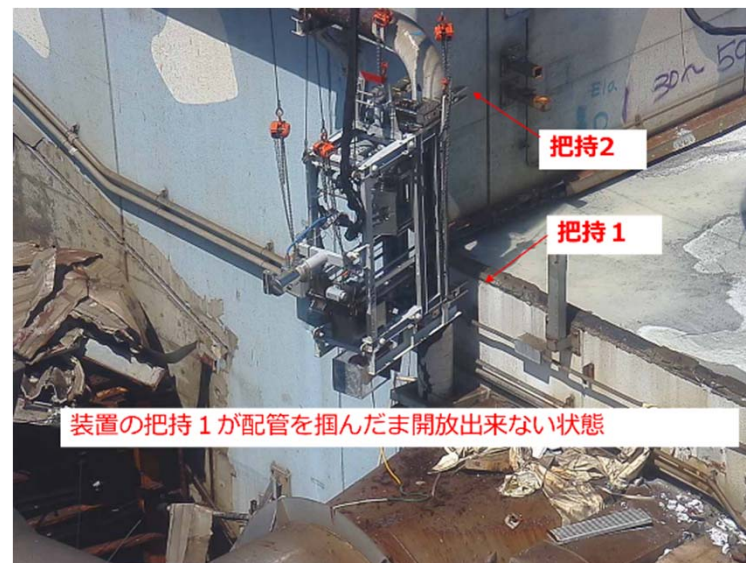
- 本作業の着手にあたっては、これまで構外施設において、モックアップ試験および作業訓練等の事前準備を実施しておりますが、8月28日に事前準備の一環として現場のSGTS配管に配管把持装置※を設置し、動作確認を実施しました。
 - 当該装置については、配管を2箇所では保持する構造としておりますが、本動作確認において、2箇所のうち1箇所が配管を保持したまま、外すことができない状態となりました。
 - 事前に想定していた不具合時の対応に基づき、8月29日に作業員が装置へ直接アクセスし、当該装置を回転させることで、当該装置を配管から取り外しました。
 - 保持部分の1箇所が保持した状態のまま開放できなくなった原因について、今後速やかに調査するとともに、再発防止対策を講じてまいります。
 - 今年度中のSGTS配管の撤去に向けて、引き続き、安全最優先に作業を進めてまいります。
- ※SGTS配管を切断する際は、ダストが周囲に飛散するのを防ぐことを目的に、切断部分に事前に発泡剤を注入したうえで、配管の切断する工法を採用しており、配管内に発泡剤を注入するための装置。

(参考) 配管把持装置の状況

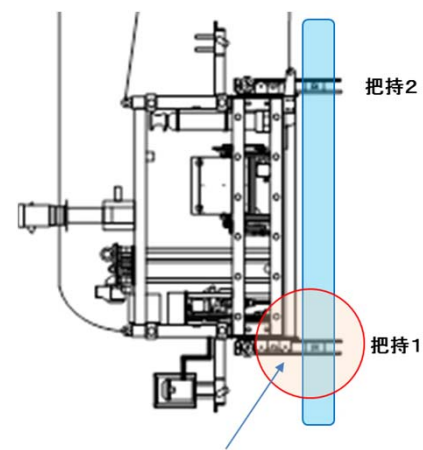
■ 撤去対象配管について（東側から見る）



【SGTS配管の撤去範囲と当該箇所】



【配管把持装置の設置状況】



不具合箇所

【配管把持装置の概要】